

英語科学習指導案

日 時 平成 20 年 10 月 6 日 (月) 5 校時
 学 級 第 1 学年
 (男子 4 名、女子 5 名、合計 9 名)
 場 所 遠野市立附馬牛中学校 1 年生教室
 指導者 教諭 浅沼 美紀子
 共同研究者 教諭 半田 昭仁 (綾織中学校)
 教諭 高橋 昭英 (宮守中学校)

1 単元名 Unit 6 (東京書籍 NEW HORIZON ENGLISH COURSE1)

2 単元について

(1) 教材観

この単元はカナダに住むグリーン先生の姉、リサが話題の中心となっている。カナダと日本の間には人や文化の往来があることや、カナダにはトロントのチャイナタウンのようなアジア色の強い地域があることなど国際理解についてふれることができる。

扱われる文法事項は、part1 で三人称単数現在形肯定文、part2 では三人称単数現在形疑問文とその応答、part3 では三人称単数現在形の否定文である。

既習事項との関連では、Unit2 で「He(She) is~」など、be 動詞 is を用いて行った「人」の紹介を行っている。今回、一般動詞の三人称単数現在形を扱うことで、「人」についての説明がより具体的になり、表現の幅を広げられることが期待できる。ただし、主語に応じて動詞が活用すること(いわゆる三単現の s)は初出であり、混乱が予想される単元である。また、以前に学習した名詞の複数形による語尾活用(-s,-es)との混同についても注意して指導する必要がある。

(2) 生徒観

9 人の少人数であるが、学習に意欲的に取り組む。特別な配慮を要する生徒はいないが、「書く」活動を面倒がる生徒が数名いる。4 月から書く力を高めるために、その日習った教科書の太字の単語を家庭学習と関連させ、設定時間内に速く、正しく書かせる取り組みを継続した結果、全員が既習単語約 100 語を 8 割以上書くことができるようになった。しかし、夏休み明けテストにおいて、日本語をもとに語順整序する問題の正答率が低く、英語の語順が定着されていないことが分かった。授業では基本本文の定着を図るために、口頭練習、音読の後に書く活動を取り入れたり、家庭学習に語順整序や作文が含まれるプリントを配ったりして定着を図っている。

〔NRT 偏差値の結果から〕(平成 20 年 4 月実施)

国語 52, 0 社会 52, 2 算数 54, 4 理科 55, 3

〔夏休み明けテスト(英語)の結果から〕(平成 20 年 8 月実施)

| 得点分布 | 80~89 | 70~79 | 60~69 | 50~59 | 40~49 | 30~39 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人 数 | 3 人 | 1 人 | 2 人 | 0 人 | 1 人 | 2 人 |

(3) 指導観

昨年度の学習定着度状況調査の結果から、地区全体で語順整序など「書くこと」の領域での落ち込みが見られた。そこで、平成 20 年度ブラッシュアッププラン授業改善研修会の研修テーマを「基礎・基本定着のための自己表現活動」とし、自己表現に適した教材の工夫、自己表現させる場面を多く設定することで、基礎・基本の確実な定着を目指すことにした。

Unit6 は三人称単数現在形を導入する単元である。英語を難しいと感じる生徒が増える単元でもある。主語が単数の時、動詞が活用することや、疑問文、否定文で does が入れば、後に続く動詞を原形に戻すことなど生徒の混乱が予想される。そこで、生徒にとって身近な人の紹介や、その人たちについての対話などの表現活動で生徒たちの興味・関心を維持させ、

時間をかけて口頭練習させたり、音読練習を反復させたりすることで十分に慣れさせ定着を図りたい。また、口頭練習や音読練習で覚えた英文を書かせることで、音と文字のつながりを確認させたい。

3 単元の目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・ 三人称単数現在形を用いて積極的に言語活動に取り組むことができる。

【表現の能力】

- ・ 三人称単数現在形を用いて身近なことについて話したり、書いたりして表現することができる。

【理解の能力】

- ・ 三人称単数現在形を用いた文を読んだり、聞いたりして理解することができる。

【言語や文化についての知識・理解】

- ・ 三人称単数現在形について理解し、正しく使うことができる。
- ・ 教科書本文を通して、英語が国際語であることを知る。

4 単元指導計画

part1 …… 2時間 (三人称単数現在形肯定文)

part2 …… 2時間 (三人称単数現在形疑問文)

part3 …… 1時間 (三人称単数現在形否定文) **本時**

まとめ …… 1時間

単元テスト …… 1時間

5 本時の目標

(1) 本時の到達目標

【表現】 三人称単数現在形否定文を用いて、人について述べるができる。

【言語・文化】 三人称単数現在形否定文の形・意味・用法を理解している。

(2) 具体の評価規準

| 観 点 | 十分に満足できると判断できる状況 (A) | おおむね満足できると判断できる状況 (B) | 努力を要する生徒の指導の手だて |
|------------|---|---|---------------------|
| 表現の能力 | 三人称単数現在形否定文を正しく用いて、表の中の人物について、相手に伝わるように説明できる。 | 三人称単数現在形否定文を用いて、表の中の人物について説明できる。 | 説明を加え、表現の手助けをする。 |
| 言語・文化の知識理解 | 三人称単数現在形否定文を用いて、発展問題に正しく答えることができる。 | 三人称単数現在形否定文を用いて、自己表現で用いた英文の中から3文選び、正しく書くことができる。 | 個別にヒントを与えながら、正解に導く。 |

6 展開案 (別紙)

7 板書計画

Monday, October 6

今日の課題

3 単現の否定文を使って表現しよう。

基本文

Koji speaks English.
Koji doesn't speak Chinese.

有名人の絵・写真

発音表

展開案

| 段階 | 学習内容 | 学習活動 | ○指導上の留意点 ☆評価の観点 |
|----------|---|--|---|
| 導入 10 | 1 あいさつ 2 単語テスト 3 前時の復習 4 学習課題の設定 (1)オーラルイントロダクション (2)学習課題の提示 | ・40問テスト ・既習事項を用いたQandA ・教師が話す英文から内容や意味を把握する。 | ○3分間集中して既習単語を書かせる。 ○テンポ良く質問をして、リズムを作る。 ○自己評価用紙に本時の目標を記入させる。 |
| 展開 38 | doesn't を使って、身近な人について説明できるようになる。 | | |
| | 5 基本文型の確認 | ・意味や語順を確認する。 ・動詞を替えながら口頭練習で繰り返し練習する。 | ○全員に発表させる。 |
| | 6 教科書の内容把握と音読練習 | ・PCとCDを用いて内容を把握する。 ・フラッシュカードで新出単語の意味と発音を練習する。 ・適切な速さで正確に音読できるよう練習する。 全体→個人→全体→個人 | ○リスニングポイントを与え、CDを聞かせる。 ○both,they の th の発音に注意させる。 |
| | 7 言語活動 | 「Guess who」 教師が持っている正しい情報を当てるために、主語になる人物を黒板に貼った写真の中から推測する。グループ毎に順番を決め、前に出て doesn't を用いた英文で発表する。 | ☆三人称単数現在形否定文を用いて、身近な人の説明ができる。(発表：表現) ○声の大きさや発表の姿勢などを意識させる。 |
| | 8 基本文型の応用 | ・言語活動で確認した情報の中から3つ選んで英文で書く。その後、発展問題に挑戦する。 | ☆三人称単数現在形否定文を正しく理解している。(プリント：言語・文化) ○机間指導を行い、書かれた内容のチェックをする。 |
| 終末 2 | 9 自己評価と課題の確認 10 あいさつ | ・自己評価用紙に記入する。 ・家庭学習の内容を確認する。 (Gアップシート No.33) | |